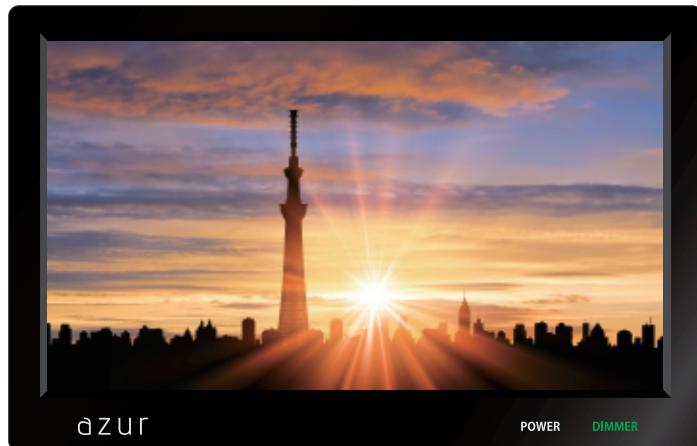


10.1インチHDMI対応モニター
RMX-H1014Ch

リアモニタースタンド付属

取扱説明書



この度は、モニターをお買い上げいただきまして
誠にありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになられた後はいつでも再読できるよう大切に保管してください。保証書は必ず販売店名/購入日などの必要となる記入をご確認の上、販売店よりお受け取りください。

目次

■安全上のご注意	1～3
■取扱説明書について	4
■付属品の確認	4
■リモコン電池	4
■各部の名称と機能	
フロントパネル	5
リモコン	5～6
■接続方法	7
■取り付けについて	
リアモニタースタンドの取付方法	8～12
■製品仕様	13
■故障かなと思ったら	14

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、この「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしてています。

その表示と意味は次のようにになっています。

内容を理解してから、本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例

	△記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容であることを告げるものです。 (左図の場合は感電注意が描かれています。)
	○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 (左図の場合は分解禁止が描かれています。)
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。 (左図の場合は電源プラグから抜くが描かれています。)

※この製品の故障、誤作動、不具合などによって発生した次にあげる損害などの付随的損害補償につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者が記録メディアへ記録された内容の損害
- 録音、再生などのお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

- ・運転する方は、運転中はテレビ、ビデオを絶対に見ないでください。また運転中に本機の操作をしないでください。交通事故の原因となります。
- ・本製品の電源はDC12V(マイナスアース車)専用です。家庭でみるための改造は絶対にしないでください。
- ・本製品は日本国内専用です。海外ではシステムが異なるため使用できません。

警 告

	表示された電源電圧以外では使わない 本機はDC12V専用です。異なる電源電圧で使うと火災、感電の原因となります。		内部に金属や燃えやすいものをいれない ヘアピンやコインなどを本機の上に置くと通風孔から内部に入り、ショートして火災や感電の原因となります。
	水をかけたり、濡らしたりしない 本機の中に水分が入ると火災や感電の原因となります。風呂、シャワー室等の水のかかる場所では使わないでください。		取り付けは専門技術者に依頼する 取り付けと配線は専門技術と経験が必要です。
	運転の妨げになる場所に設置しない 前方や後方の視界を妨げる場所、運転操作に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所に設置しないでください。交通事故の原因となります。		正しく配線を行ってください。 誤った配線をすると発火や事故の原因となります。特にリード線がネジやシートレールの可動部にかみこまないよう固定してください。
	エアーバックに注意 エアーバックが装着された車の場合、作動の妨げにならない場所に取り付けてください。エアーバック作動時、思わずケガを負う危険性があります。	 接触禁止	雷が鳴り出したら 本機や電源プラグに触れないでください。感電の恐れがあります。
	故障や異常のまま使用しない 煙がでている、変なにおいや音がしたら電源コードを抜き、販売店に修理または点検を依頼してください。そのまま使うと火災や感電の原因となります。	 禁止	高温にご注意 高温度を発生するヒーターなどの側に設置しないでください。火災・故障・変形の原因となります。
	分解・改造・修理はしない 本体を分解・改造・修理しないでください。修理は販売店にご相談ください。ケースを開けるとやけど・感電の原因となります。		電源ケーブルは定期的に掃除、点検する 電源ケーブルのカプラー部分を、定期的に点検し、付着したホコリや汚れなどを拭きとってください。汚れにより発熱し、火災の原因となることがあります。
	電源コードは大切に 電源コードに傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。付属のコード以外使用しないでください。		コード類は運転操作や乗り降りの妨げにならない場所に配線してください。ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダル、足などに巻き付いて交通事故やケガの原因となります。
	運転中はテレビを見たり、操作しない 運転者がテレビを見るときは必ず安全な場所に停車させ、サイドブレーキを引いてからご覧ください。走行中の使用は重大な事故の原因となります。	 禁止	本機の取付やアース配線にステアリング、ブレーキ系統、燃料タンクなどの保安部品のボルトやナット、ネジは絶対に使用しないでください。制動不良や事故、発火の原因となります。
	シートベルトを着用する 後部座席でモニターをご覧になるときは、必ずシートベルトを着用してください。 また、後部座席にお乗りの方が走行中にモニタースタンドの脱着は絶対に行わないでください。		

注 意

 禁止	高温に注意 直射日光に長時間当てない。 ヒーターの噴出口に設置しない。 火災、変色、変形、故障の原因となります。		安定した場所に固定する 固定せず不完全な所に置くと、急ブレーキのとき、思わぬケガや損傷を負う危険があります。必ず固定してお使いください。
 禁止	内部温度を上げないように注意する 通風孔をふさがない。布などをかけない。 シートやマットなどの柔らかい物の上に置かない。 発火や感電の原因となることがあります。	 禁止	液晶パネルを強く押さない パネルを強く押したり、落下させたり、強い衝撃を与えると液晶パネルが破損する危険性があります。
 禁止	コードをかみさせたり、引っ張ったり 傷つけたりしない ショートや断線により、発火や故障の原因となることがあります。	 禁止	停車時の使用 長時間エンジンを停止したまま使用しない。 バッテリーの過放電によりスターターが回らなくなる恐れがあります。
	決められたヒューズを使用する 必ず規定のヒューズ(本製品は2A)をご使用ください。規定外のヒューズを使用すると、火災や故障の原因となることがあります。		配線上の注意 指定以外の線材を使ったり、一箇所から集中して電源を取り過ぎると火災ややけどの原因となります。また、電源供給回路部が損傷することがあります。
		 音量は小さく	音量に注意 電源を切るときは音量を下げておいてください。電源再投入時、大きな音で聴力障害などの原因となります。

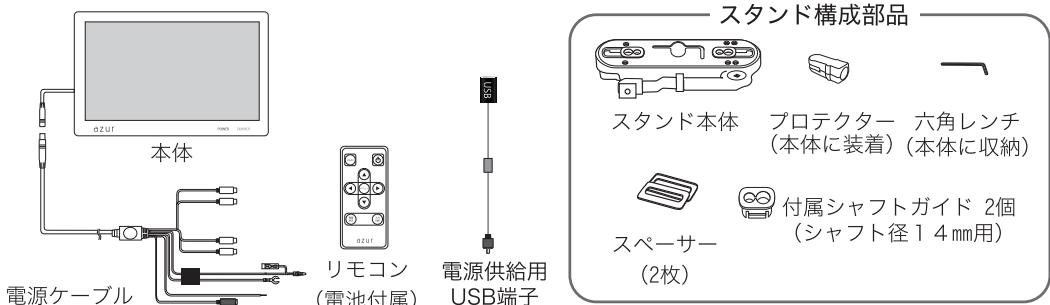
取扱説明書について

- ①本書の内容の一部または全部を無断で転載する事を禁じます。
- ②本書の内容及び説明している情報は、予告無く改善のため変更される場合があります。予めご了承ください。
- ③本書の内容には万全を期しておりますが、万一疑問な点や誤り、記載ミス、記載漏れ等が御座いましたら、弊社まで御連絡をお願い致します。
- ④弊社では本製品を運用した結果の影響については、③項に関わらず責任を負いかねますので、予めご了承ください。
- ⑤本書で指示記載してある内容を無視した行為や、誤った操作によって生じた障害や損害については、保証期間内であっても弊社では責任を負いかねますので、予めご了承ください。
また、いかなる場合におきましても本製品以外の保証（取付工賃など）に関しましては、一切負担を致しかねますので、予めご了承ください。

付属品の確認

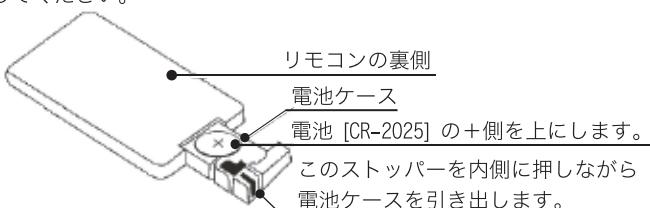
お使いになる前に付属品の確認をしてください。

※付属品の写真はイメージです。実際の物とは若干異なる場合があります。



リモコン電池

初めてリモコンをご使用になる場合は、リモコン下部に電池の消耗を防ぐための透明の絶縁シートが入っておりますので、このシートをはずしてからご使用ください。
電池「CR-2025」は通常1年間程度使用できますが、付属の電池は動作確認用のため、電池寿命が1年以内になる場合があります。この場合は、同じ型名の電池をご購入の上、交換をしてください。



各部の名称と機能

フロントパネル



①電源ボタン

電源のON/OFFを繰り返します。

②DIMMERボタン

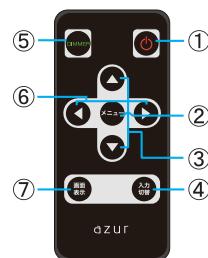
ディマーモードのオン/オフを切替えます。

ディマーモードがONになると画面の明るさが通常時の約50%程暗くなります。

③HDMI入力端子(標準コネクタメス)

別売のHDMI端子を接続します。

リモコン



①電源ボタン

電源のON/OFFを繰り返します。

②メニュー ボタン

メニューを表示/非表示します。

上下左右方向ボタンで変更したい項目へ移動してから、◀▶ボタンで値/設定の調整を行ってください。

何も操作しないと、約10秒後にメニューが消えます。

映像設定

- ・ 画質モード:「標準」「柔らか」「鮮やか」「カスタム」に切替えます。初期設定:標準
- ・ コントラスト:調整範囲1~100
- ・ 明るさ:調整範囲1~100
- ・ 色合い:調整範囲1~100
- ・ 色の濃さ:調整範囲1~100
- ・ シャープネス:1~100
- ・ 色温度:「標準」「高」「低」に切替えます。初期設定:標準
- ・ 画面サイズ:ディスプレイ比を「16:9」「4:3」に切替えます。初期設定:16:9
- ・ ノイズリダクション:「高」「中」「低」「オフ」に切替えます。初期設定:中

音声設定

- ・ バランス:1~100の調整範囲で音声のバランスを調整します。

画面設定

- ・ 言語:日本語と英語に切替えます。初期設定:日本語
- ・ 背景色:オンの時背景色が青色で、オフの時背景色が黒色です。初期設定:オン
- ・ 初期設定に戻す:この項目に移動してからメニュー ボタンを押すと本機器の設定は初期設定に戻ります。

機能設定

- ・ オフトайマー:時間を設定して自動的に電源が切れます。初期設定:オフ
- ・ 自動スリープ:約30分信号が無いと、本機器は自動的にスリープ状態に入ります。初期設定:オン

各部の名称と機能

③▲▼ボタン

メニュー項目を切り替えます。

④入力切替ボタン

モニターの映像入力とHDMI入力モードを切替えます。

⑤DIMMERボタン

ディマーモードのON/OFFを切替えます。

ディマーモードがONになると画面の明るさが通常時の約50%程暗くなります。

⑥◀▶ボタン

設定項目の値を増減します。

⑦画面表示ボタン

画面サイズを「16:9」「4:3」に切替えます。

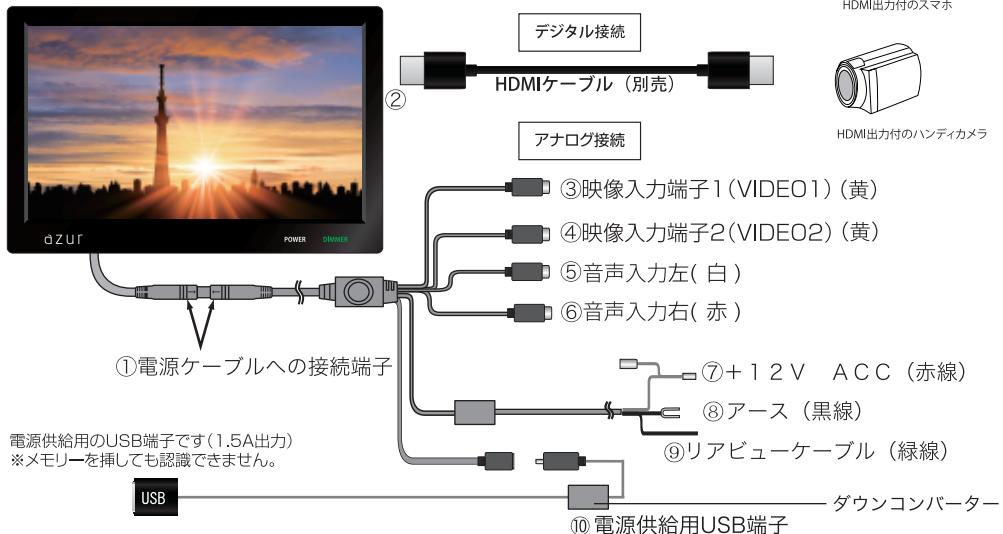
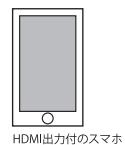
接続方法

外部機器の接続

付属の電源ケーブルをモニターに接続します。

このケーブルに以下のようにT VチューナーやD V Dプレーヤー等を接続します。

全ての接続が完了してから、電源入力端子に電源を接続してください。



①電源ケーブルへの接続端子

モニター側の端子に接続します。端子のマークを合わせてから接続してください。
緩みが無い様、確実に接続してください。

②HDMI入力端子

別売のHDMI端子を接続します。

③映像入力端子1(VIDEO1)

お手持ちのT VチューナーやD V Dプレーヤー等を接続します。

④映像入力端子2(VIDEO2)

お手持ちのT VチューナーやD V Dプレーヤー等を接続します。

⑤音声入力左

⑥音声入力右

⑦+12V ACC（赤線）

電源+12V（ACC：アクセサリー線）を、圧着端子等を利用し確実に取付けてください。

⑧アース/GROUND（黒線）

マイナス（黒線：ボディーアース）を車のシャーシ（金属部分）へ確実に取付けてください。

⑨リアビューケーブル

車のギアをバックに入れたときに+12Vが流れる箇所へ確実に取付けてください。

※本製品で、バックカメラの映像を自動切り替えにするとときのみ使用します。

※バックカメラを自動切り替えにするときは、映像入力端子2(VIDEO2)にカメラを接続してください。

⑩電源供給用USB端子

携帯電話やMHLケーブルに電源を供給するためのUSB端子です。

USB端子は充電専用となりますので、USBメモリーを挿しても音楽・動画等の再生はできません。

※本体からの電源は12V出力となり、ダウンコンバーターより先はUSB用に5Vに変圧しています。

取り付けについて

▲ 注意：取付の前に！

- ・本製品は、取付時や配線処理時に専門の知識や工具等が必要になります。また、取付状況やお車によっては製品本体や内装材の脱落、車両破損等が生じる場合もありますので、取付前にお車の状況を十分に御確認いただき、取付の際には十分ご注意ください。
- ・いずれの場合におきましても、取付時および使用中に生じた車両への破損、損害、使いになる方や他の他の損傷に関しては、弊社では一切の責任を負いかねます。

▲ 警告：ご注意ください！

- ・本機を取付ける時には、必ず水平な場所を選び、サイドブレーキをかけ、エンジンを必ずOFFにしてから行ってください。
- ・取付が不十分であったり、ネジが緩んでいると落下する恐れがありますのでご注意ください。
- ・本機はDC12V専用です。トラック等の異なる電源電圧では使用できません。
- ・配線をする時は、車両配線用コード以外で延長しないでください。コード被膜が破れ、製品の故障や火災、感電の原因となります。
- ・車体やネジ部分、シート等の可動部に、配線を挟み込まない様にご注意ください。
- ・取付は、専門知識と技術のある販売店又は専門業者にご相談、ご依頼ください。

リアモニタースタンドの取付方法

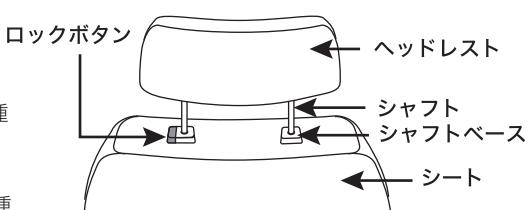
特徴

- ヘッドレストのシャフトベースに取り付けるタイプなので簡単にしっかりと取り付けが可能です。
- 複数の可動部を採用していますので、TVをお好みの高さや角度に幅広い設定が可能です。

取り付け前の準備

取り付けられない場合

- ヘッドレストが取り外せない車種
- ロックボタンが外側を向いていない車種
- シャフトの間隔が115mm～185mm以外の車種
- シャフトやシャフトベースが特殊な形状の車種
- ヘッドレスト一体型シート形状の車種
- ヘッドレストを1本のシャフトで支えている車種
- 総重量1kg以上のTVやモニター



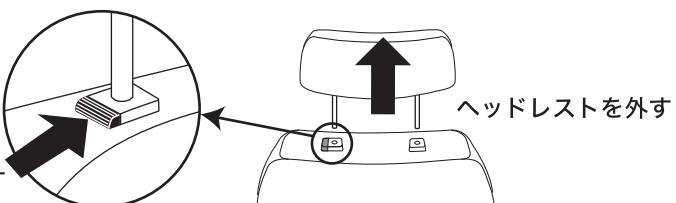
※本リアモニタースタンドは助手席側ヘッドレスト（左側シート）専用です。

リアモニタースタンドの取付方法

スタンド取り付け

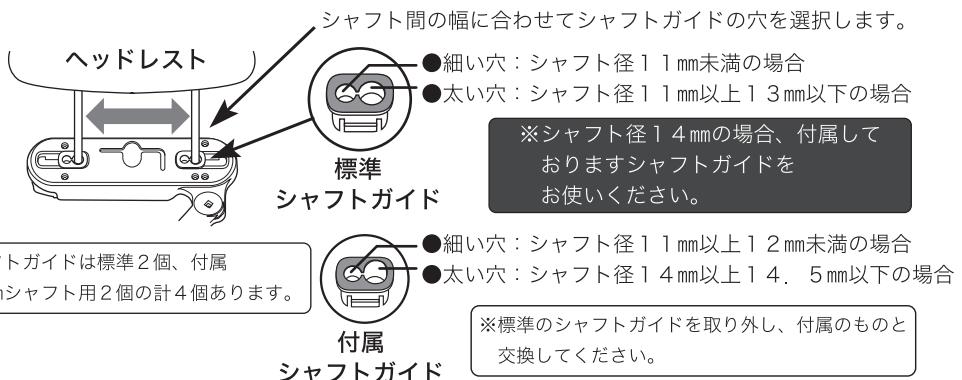
1 ヘッドレストを外す

ロックボタンを押しながらヘッドレストを外します。



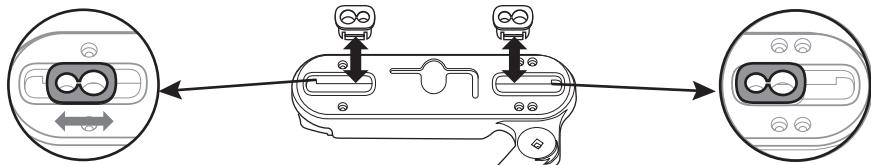
2 シャフトガイドを取り付ける

シャフトの径に合わせて細い穴・太い穴または付属の14mm対応シャフトガイドの穴を選択します。

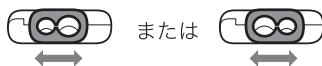


3 シートにスタンド本体を取り付ける

本体裏側からシャフトガイドを押し上げて取り外し、シャフトの幅に合わせセットします。最初に右側のシャフトガイドの位置を決定してから、シャフトの幅に合わせて左側シャフトガイドの位置を調整します。



左側のシャフトガイドは左右にスライドさせて調整できます。
左右を入れ替えて調整もできます。



右側のシャフトガイドは必ず右側か左側に寄せてください。中央にはセットできません。また、左右を入れ替えることはできません。



リアモニタースタンドの取付方法

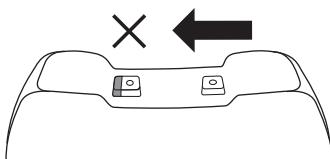
4 シートにスタンド本体を取り付ける

シート上部のシャフトベースにスタンド本体を取り付けます。上から押さえ込みながらホールド金具をシャフトベースの下側に差込み、右から左へスライドさせてセットします。

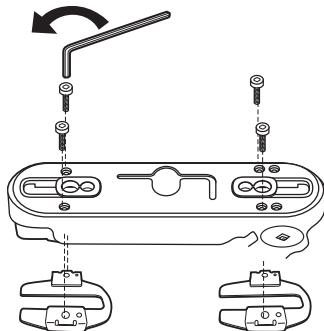


取り付け時にスタンドをスライドさせることができない場合

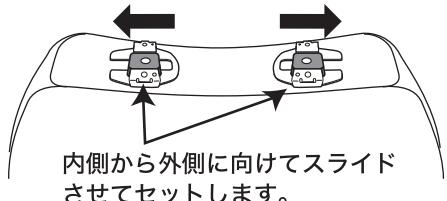
シート上部の両端が盛り上がりっていたり特殊な形状のため、スライドさせて取り付けることができない場合は、スタンド本体からホールド金具を一度取り外して取り付け後、本体を取り付けます。



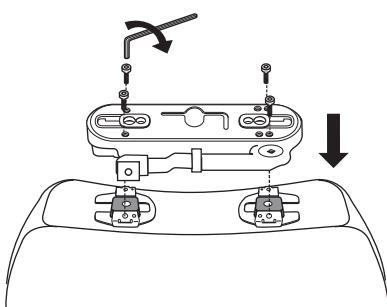
1 付属の六角レンチでホールド金具を外します。片側2本合計4本を外します。



2 取り外したホールド金具をシートのシャフトベースに、外側に向けて取り付けます。



3 スタンド本体を上からかぶせねじ止めします。ネジは最後までしっかりと固定してください。

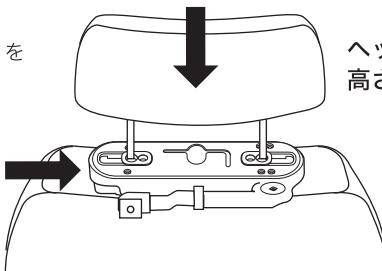


リアモニタースタンドの取付方法

4 ヘッドレストを元に戻す

ロックボタンを押しながらヘッドレストを元に戻します。

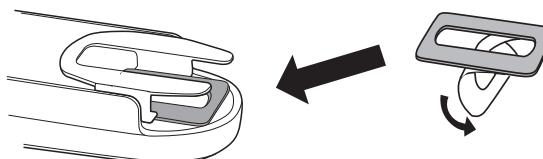
ロックボタンはこちら側の隙間から指を差し込んで押します。



ヘッドレストを元に戻し高さを調整します。

■取り付けた時にガタつきができる場合

シャフトベースの形状によってはスタンド本体を取り付けた場合にガタつきが出る場合があります。そのような場合は付属のスペーサーをスタンド本体に取り付けてからシートにセットしてください。

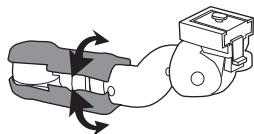
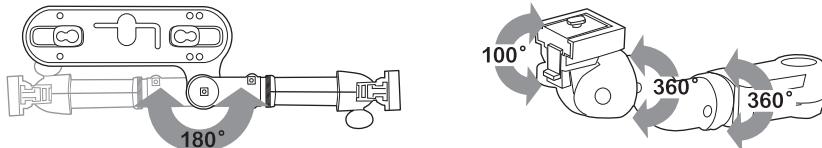


スペーサーの剥離紙をはがして
スタンド本体に貼り付けます。

モニターの取り付け

1 アームを調整する

図のようにアームを動かしてモニターを使用する位置に調整します。アームの動きが固い場合は付属の六角レンチでネジを緩めて調整してください。調整後にネジを緩めると固定されます。



アームを調節する場合は
プロテクターを取り外し
ておこなってください。
調節後はプロテクターを
戻してお使いください。



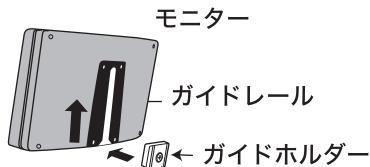
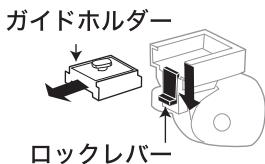
アームを90°
開いた状態の
まま使用しないでく
ださい。事故や故障の原
因となります。

リアモニタースタンドの取付方法

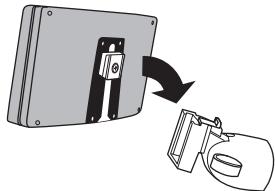
② モニターを取り付ける

ガイドホルダーをモニターのガイドレールに取り付けてからアームに設置します。

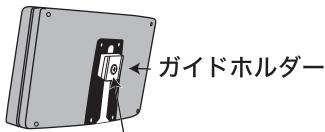
取り付け後は、必ずプラスドライバーでねじを固く締めつけてください。



- 1 ロックレバーを押して
ガイドホルダーを外します。



- 2 モニターのガイドレールにガイドホルダーを
プラスドライバーで取り付けます。



ガイドホルダーが動かなくなるまで、ねじをドライバーで締めつけてください。

- 3 ガイドホルダーをアームに
取り付けます。

製品仕様

種類 : HDMI LEDバックライト液晶カーモニター

画面面 : 10.1型WSVGA LEDバックライト液晶

画素数 : 1024 ×600 ×RGB

使用電圧 : DC 12V(マイナスアース車)

消費電力 : 約6W

接続端子 : 外部入力4: RCAピンジャック

使用温度 : 0°C～+50°C

保存温度 : -10°C～+60°C

本体サイズ : 約 251 ×約 160 ×約 25 (mm)

本体重量 : 約 600 g

サポートしている : 480i/480p/576i/576p/720i/720p/1080i/1080p
HDMIの信号 ※HDMI1.4に対応

スピーカーインピーダンス : 8Ω

●仕様は改良のため、予告無く変更する場合があります。

故障かなと思ったら

●修理を依頼する前に以下の内容を確認してください。

電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">各接続のコネクターは完全に接続されていますか？+12V ACC（赤線）は正しく接続されていますか？アース（黒線）は車両金属部分へ取付っていますか？ヒューズボックス内のヒューズは切れていませんか？
映像が出ない	<ul style="list-style-type: none">各接続のコネクターは完全に接続されていますか？映像の入力切替えは正しい設定になっていますか？
映像の映りが悪い 色が薄い・暗い	<ul style="list-style-type: none">明るさ、コントラスト等を調整してください。後方からのライトや光の具合によっては見にくい場合があります。映像入力ケーブルが極端に長くなっていますか？
バックカメラの 映像が出ない・ 自動切替しない	<ul style="list-style-type: none">VIDEO1、VIDEO2は正しいですか？緑色のリアビューケーブルを接続していますか？

▲注意

- 症状が改善しない場合や上記以外の症状に関しましては、お買い上げの販売店にご相談ください。
- お客様による修理は大変危険です。絶対におやめください。

azur